

(公社) 日本鍼灸師会 全国大会 in 愛知大会レポート

講演 2 : 「病態水準」に基づく患者の心の理解—何が起きているのか、いかに関わるか—

講師 : 藤江里衣子先生 (藤田医科大学 医学部 医療コミュニケーション臨床心理士)

報告者 : 木暮守宏 (研修委員会)

臨床心理士の藤江里衣子先生の講演内容は、私たちが日々の臨床で患者さんの身体的な苦痛や精神的な苦痛などをどのように理解し、どのように対応すれば良いかを教えてくれる内容でした。

今回の講演は、臨床心理士の先生が患者さんの心理を理解する時に用いる手法の1つである「病態水準」の考え方を教えて頂きました。「病態水準」は、心の健康度によって「神経症水準」「境界例水準」「精神病水準」の3つに分けられ、心の成熟度などから判断するもので、現実を正しく認識できる程度、自分自身についてのイメージのまとまりの程度、心を守る方法の成熟度などから判断します。

藤江先生は、それぞれの病態水準の患者さんの話し方 (しゃべり口調)、態度、特徴などわかりやすく実演をしながら示し、患者さんに見られる特徴、背景にある心の動き、生育歴や家族歴などのエピソードを具体的な例を交えながら、その対応の仕方や対応の間違えやすいところ、なぜその対応にしなければならないかを丁寧に教えて頂きました。

今後の患者さんとの接し方に非常に為になる講習会内容でした。

また今回の全国大会は現地参加をしており、特に藤江先生の講演はリアル参加でしか感じる事のできない空気感を感じられたとても良い講演でした。